

【講座名】	講座2 「自立活動の指導の在り方」
【講師】	都城市立西小学校 指導教諭 石本隆士 氏

I 講座の内容

1 自立活動の実践例の紹介

- (1) 題材開発の一例
 - 年度の前半に取り上げたい学習内容の検討。特別支援学校学習指導要領解説（自立活動編）「自立活動の個別の指導計画」作成の手順を参考に指導案を作成
- (2) 授業を考える基本姿勢 教育的判断を重視
- (3) 開かれた心 よりどころは、自分の心の中の優位性、妥当性よりも有効性が大切
- (4) 迷ったとき確かめ合いたい4つのポイント
 - 「これ以上してはいけません」という限度を明確にする。(リミットセッティング)
 - 自分をふり返る力を育てる。(セルフモニタリング)
 - 心の中での言葉を育てる。(内言語)
 - 健全な自己イメージを育てる。
- (5) きまりを明確にする実践例
 - 「一緒に決めた約束ねっ」としながら、その構造は指導者が一方的に伝えたもの
 - 約束の意味を理解させることが第一歩。理解してもらうための授業、日常的な確かめ、守ってもらうための工夫（リカバリーできるしくみ）が必要。
- (6) ふり返る力を育てる実践例
 - 〈約束〉⇒セッション(活動)⇒〈実行〉、根気よく繰り返し指導、できたら褒めて認める。
 - メタ認知をイメージさせる掲示資料、自身の課題を確認し合うカード、明確な評価内容を確認し合うカード、本時の振り返り⇒映像で振り返る（iphone等の活用）
 - アンケート⇒自分を見つめる、穏やかな自分に気付ける

2 こころのはたらきに注目した取組

- (1) こころの中のことばを育てる例
- (2) 健全な自己イメージを育てる例
- (3) 前頭葉と学習(特に注意のこと)
- (4) ネガティブな思考から距離をおく技法 マインドフルネス、論理的分析、破局的思考の緩和

II 質疑応答

Q.1 アスリートのビデオ資料を見ての児童の反応はどうであったか？

⇒ 学習カードを作り見せる視点を示す。言葉を抽出して見える化する必要がある。

Q.2 教室のカーテン設置の意図は？

⇒ 職員のスペース。子供が入らないように、触らないようにするため。年度当初に教師の指導が効果的に行えるようにするために設営を行う。

III 受けてみての感想

「授業を考える基本姿勢」や「迷ったとき確かめ合いたいポイント」など、日常の指導に活かすことができる視点を示していただいた。また、授業実践で活用されたワークシートやカード、映像資料を具体的に提示していただき、今後の授業実践に大いに役立つ講座であった。

講座の様子		
-------	---	--

